

京都市の目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ 次代と自らの未来を創造する子ども」  
 ～歴史に学び、今を見つめ、持続可能な社会の担い手として、  
 様々な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、未来社会を創造する～

学校教育において重視する視点

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を  
 学校全体の教育活動の中で高める 自学自習の習慣化を重点課題として取り組む

平成31年度 学校教育目標

自ら学び、ともに高め合う、向島の子

～未来に向かって、豊かな自分を創造する子の育成～

目指す子ども像

進んで学習し、  
自分の考えを伝えられる子

豊かな心を持ち、  
自分も友だちも大切にする子

ねばり強く、  
元気いっぱい活動する子

確かな学力（知）

豊かな心（徳）

健やかな体（体）

・主体的・対話的で深い学びの実現  
 ・自学自習の習慣化を目指した取組の推進  
 ・ICT機器等を効果的に活用した学習活動の充実

・道徳教育の充実  
 ・伝統や文化を通じ、豊かな感性・情緒を育む教育の充実  
 ・多様性を理解する姿勢の涵養  
 ・支え合い高め合う集団づくり

・基本的生活習慣の定着  
 ・体力の向上  
 ・防災教育・安全教育の充実  
 ・食に関する指導の充実

学校運営の柱 ～全教職員が進める確かな学校教育～ 子どもの命を守りきる すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める 教育者としての職責を自覚し、資質・指導力を高めるとともに、働き方改革を進める 校種間連携・接続を推進する 「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う 保護者・地域と連携・協働した取組を推進する 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する

目指す教職員像

子どもへの愛情にあふれ、教職員としての職責を自覚し、確かな指導力を持つ教職員  
 自己研鑽に励み、互いに学び合って専門性を高める教職員  
 子どもの命を守りきる教職員

目指す学校像

子ども一人一人を大切に、安心・安全に過ごすことができる学校  
 多様な価値を認め合い、人権文化の担い手となる子どもを育てる学校  
 教職員一人一人の特性を、最大限に生かすことができる学校  
 保護者・地域に信頼され、地域ぐるみの教育の核となる学校